



1. 5月8日(木)から1泊2日で宿泊体験学習を実施しました。

5月8日(木)から1泊2日で1年生の宿泊体験学習を実施しました。目的は、「1泊2日の共同生活を通して、心のつながりを深め、仲間意識を養う。基本的な集団行動の大切さを学び、連帯感・自主性・責任感を高める。」です。

1日目の「ひこねスカイアドベンチャー」では、地上8メートルで18のミッションにチャレンジするハイエレメント(アスレチック)があり、子どもたちが互いに声を掛け合いクリアしていく姿が印象的で、ゴールした子どもたちの表情には達成感が満ち溢れていました。さらに、ローエレメント(チームビルディング)では、工夫されたゲームをすることによって、子どもたちが新しい友達を作るきっかけになったり、普段話をしているグループ以外の友達と話す機会になりました。

夜のキャンプファイヤーでは、先生が扮装する「火の神」が登場し、「友情」・「健康」・「努力」・「希望」の「4つの火」を分け与え、子どもたちはその火を囲んで、係の子どもたちが中心になって考えたゲームやスタンツで盛り上がりました。

2日目は飯盒炊飯でカレー作りに取り組みました。それぞれが責任をもってその役割を果たし、事前に調べたレシピに従って調理しました。完成後は、自分たちで作ったカレーを楽しく談笑しながらおいしくいただきました。その楽しそうな様子から、これまで以上に心のつながりが深まり、仲間意識が高まったと思いました。

2. 5月28日(水)から2泊3日で修学旅行を実施しました。

5月28日(水)から2泊3日で修学旅行を実施しました。目的は、「信州の自然や文化に触れ、地域の特色やすばらしさを知る。規則を守り集団生活を通してクラスの交流と団結を深める。体験学習や集団行動を通して計画を立て実行する力を身につける。」です。

これらの目的の達成を図ることはもちろんですが、子どもたちには、修学旅行が日常の生活から離れて、子どもたちが各々の家庭を振り返り、毎日の学習活動を支援してくれている家族等へ思いを馳せる機会になったと思います。この修学旅行を機会に、クラスだけではなく、学年全体が繋がり、次の体育祭に向けた取組に生かして欲しいと願っています。

3. 6月10日(火)体育祭を実施します。

体育祭や部活動の試合のように勝敗が決まる行事などの時に、「勝者と敗者の違い」を思い出します。勝ち負けだけにこだわらず、お互いの頑張りを称え合うことが大切です。「歴代の偉大な50人の選手」に選ばれ、2002年に殿堂入りしたアメリカの元バスケットボール選手(1959年8月14日生)アーヴィン・ジョンソン(通称:マジック・ジョンソン)による名言の一部を紹介します。

勝者は、間違ったときには「私が間違っていた」と言う。敗者は、「私のせいではない」と言う。

勝者は、勝因は「運が良かった」と言う。敗者は、敗因を「運が悪かった」と言う。

勝者は、問題を真っ直ぐ通り抜ける。敗者は、問題の周りをグルグル回る。

勝者は、「自分はまだまだです」と言う。敗者は、自分より劣るものを見下す。